

その他

(1 0) 年報の発行：2 0 0 2 年度年報を発行（6月の理事・評議員会で配布）

(1 1) 協議会、研究会、学会など

留学生奨学団体連絡協議会（JISSA）

国際教育交流研究会（JAFSA）

日本留学生宿舎財団法人協議会

助成財団センター

留学生教育学会

SGRAレポート第18号

- 7月19日：第12回SGRAフォーラム in 軽井沢
「環境問題と国際協力：COP3の目標は実現可能か」
外岡豊（埼玉大学）・李海峰（*建築研究所）・鄭成春（*鳥取環境大学）他
鹿島建設軽井沢研修センター会議室
SGRAレポート第20号
- 11月14日：第13回SGRAフォーラム
「日本は外国人をどう受け入れるべきか：『共生』をキーワードとして」
宮島喬（立教大学）、イコ・プラムディオノ（*東京大学）
東京国際フォーラムG棟402号室
SGRAレポート第23号
- 12月4日：SGRAレポート第19号（投稿）朴栄濬
「海軍の誕生と近代日本：幕末期海軍建設の再検討と『海軍革命』の仮説」
- 2月7日：第14回SGRAフォーラム in お台場
「国境を越えるE-learning」
斎藤信男（*慶応義塾）、福田収一（*都立科技大学）、渡辺吉鎔（慶応義塾大学）他
国際研究大学村東京国際交流館・プラザ平成3階メディアホール
SGRAレポート第25号（予定）

インターネットによるネットワーキング

- ホームページの作成・管理 <http://www.aisf.or.jp/sgra/>
- メーリングリストへの情報発信 sgra@www.aisf.or.jp

(9) 日韓アジア未来フォーラムの開催 年報 p.67

- 10月21日～22日：第3回日韓アジア未来フォーラム
「アジア共同体構築に向けての日本および韓国の役割について」
平川均（*名古屋大学）、孫洌（韓国中央大学）、金雄熙（*韓国仁荷大学）
F. マキト（*名古屋大学）、木宮正史（東京大学）、李元徳（韓国国民大学）
韓国陽平未来人力研究院研修館会議室
SGRAレポート第21号（予定）

- 12月 1日 個別面談(9日まで)
- 1月10日 新年会(もちつき+ピアノ演奏+ビンゴ) 年報 p.13
- 2月 2日 個別面談(6日まで)
- 3月 6日 研究報告会(鹿島新館・渥美財団ホール) 年報 p.14
- 3月30日 最終食事会(創作日本料理:結庵)

英会話教室 中上級2クラスそれぞれ隔週1回:2~5名参加(講師:M.ペーレント)

ネットワーク事業

(6) 元奨学生ボランティアによる渥美財団ホームページの管理 <http://www.aisf.or.jp>

(7) ラクーン会を世界各地で開催 年報 p.63

8月 2日 ボストン(8名)

8月 3日 ニューヨーク(13名)

10月20日 ソウル(14名)

11月27日~28日 ハノイ 人間科学研究所シンポジウムにて発表

「Research on Culture, Man and Human Resources

at the Beginning of the 21st Century」

12月18日 バンコク(3名)

2月 9日~10日 京都 国際日本文化研究センターのシンポジウムに参加

「近代日中における漢語概念の往還」

2月28日 ソウル 韓国ラクーン会(Korea Society of Raccoon: KSR) 創立
(11名)

3月25日 マニラ(8名)

3月27日 台北(9名)

4月 8日 バンコク(3名)

(8) 関口グローバル研究会(SGRA:セグラ)の活動支援 年報 p.68

フォーラムの開催とレポートの発行等(*はSGRA会員)

・ 5月26日:第11回SGRAフォーラム

「地球市民研究:国境を越える取り組み」

高橋甫(駐日欧州委員会) 貫戸朋子(国境なき医師団日本)

東京国際フォーラムG棟602会議室

(4) 2004年度第10期奨学生12名の募集・選考

- 7月 1日 博士課程のある関東地方の大学の担当課、事務局、ホームページ上で
募集要項を配布開始
- 9月 1日 応募受付開始
30日 応募締め切り(44大学25ヶ国より160名応募)
- 9月下旬～ 第一次書類選考応募書類の15項目を数値化し、コンピューター処理
<60名>
- 10月10日 第二次書類選考会(選考委員:嶋津、李恩民、李周浩、ブレンサイン)
<30名に>
- 10月30日 予備面接(11月6日まで)(面接者:嶋津、ペーレント、今西)
<20名に>
- 12月 7日 最終選考会(書類審査と面接) <12名を決定>
選考委員長:畑村洋太郎 工学院大学教授(産業機械工学)
選考委員: 蟻川芳子 日本女子大学教授(環境分析化学)
佐野みどり 学習院大学教授(日本美術史)
田村次朗 慶應義塾大学教授(法学)
平川均 名古屋大学教授(経済学)
水谷弘 専修大学教授(比較文化)

交流事業

(5) 奨学生との交流

月例会

- 4月11日 食事会(中国料理:日中友好会館B1 豫園)
- 5月 6日 個別面談(9日まで)
- 6月 4日 役員を交えての親睦会(理事会・評議員会後、鹿島本社)
- 7月 3日 食事会(イタリア料理:パルテノベ)
- 7月18日 軽井沢レクリエーション旅行(20日まで) 年報 p.9
- 9月 1日 個別面談(12日まで)
- 10月 2日 食事会(ブラジル料理:バルバコア)
- 11月11日 渥美奨学生の集い
講演:明石康評議員講演会 S G R A レポート第22号

白 寅秀（２００２年度奨学生）
大韓民国産業資源部産業研究院副研究委員/高麗大学非常勤講師(在ソウル)
Business History Conference に参加（アメリカ・ローウェル）
２００３年５月２６日～２８日

金 香海（２００１年度奨学生）
中国延辺大学政治学部副教授（在中国延吉）
中央大学政治学研究会総会と国際関係研究会総会に参加（日本・東京）
２００３年６月２１日～２８日

梁 興国（２００１年度奨学生）
ボストン大学先端バイオテクノロジー・センター研究員(在ボストン)
東京と天津の研究調査および大学訪問
２００３年７月１６日～２５日

朴 榮濬（２００２年度奨学生）
大韓民国国防大学校安全保障大学院助教授（在ソウル）
アメリカ東部の日本研究施設訪問
２００３年７月２３日～８月７日

曹 奎煥（２００２年度奨学生）
早稲田大学教育学部助手
アメリカ地質学会２００３（シアトル）参加
２００３年１１月２日～５日

林 泉忠（２０００年度奨学生）
琉球大学法文学部助教授（在那覇）
ニュージーランド華人の研究調査
２００４年３月５日～１９日

（３）博士号未取得者元奨学生を対象とした特別貸与奨学金

マンダフ アリウンサイハン（２００２年度奨学生）一橋大学（地域社会学）
（３月２６日に博士号を取得。現在は一橋大学の客員研究員）

募集選考事業

2003年度事業報告

奨学事業

(1) 2003年度渥美奨学生12名に月額20万円を支給

< 2003年度博士号取得者 >

2003年度奨学生

蔡 相憲 (韓国) 東京農工大学 博士(生物生産学)

韓国天安蓮庵大学非常勤講師

朴 貞姫 (中国) 明海大学 博士(応用言語学)

明海大学非常勤講師

尹 熙淑 (韓国) 東京大学 博士(材料学)

独立行政法人産業技術総合研究所研究員

2002年度奨学生

胡 炳群 (中国) 日本工業大学 博士(システム工学)

(株)和井田製作所(在岐阜高山)

イコ プラムディオノ(インドネシア) 東京大学 博士(電子情報工学)

(株)NTT情報流通プラットフォーム研究所

マンダフ アリウンサイハン(モンゴル) 一橋大学 博士(地域社会学)

一橋大学客員研究員

ムコパディヤーヤ ランジャナ(インド) 東京大学 博士(宗教学宗教史)

名古屋市立大学大学院人間文化研究科専任講師

2000年度奨学生

モルナール マルギット(ハンガリー) 慶応義塾大学 博士(経済学)

OECD研究員(在パリ)

(2) 博士号取得者の学会派遣プログラム 年報 p.52